

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

鉄鋼事業を中核とした資源循環型事業を通じて社会と共生し、日本経済と地域社会の発展に貢献する

連結売上高
3,800億円

連結経常利益
250億円

ROE
8.0%以上

出荷量体制
400万トン

② 中長期の経営戦略

1. 海外鉄鋼事業強化

北米事業に約600億円投資し、ベトナム事業は質の強化と再構築を図る。世界3極体制の確立へ向け、グローバル・ニッチ戦略で成長するグローバル市場への横展開を進める

2. 国内4事業所連携

関東スチール吸収合併により4事業所体制へ。販売体制効率化、供給体制構築、関東圏での存在感向上、川上・川下戦略で質的向上を図る

3. 環境リサイクル事業拡大

35年の廃棄物処理実績を活用し、アスベスト等難処理廃棄物の取扱い強化。サーキュラーエコノミーへの取り組み強化で資源循環型社会に貢献

4. 無形資産投資強化

人的資本と「エシカルスチール」ブランド化に積極投資。資源循環型事業ビジネスモデルのブランディング推進で企業価値向上へ

③ 対処すべき課題

① 海外事業の業績改善

- ベトナム事業環境悪化による赤字状態を脱却。新圧延ラインの稼働と低在庫操業で競争力強化が最優先課題
- 北米事業で380億円投資を実行。米国ビントン・スチール社の設備老朽化対応と製造コスト削減を推進

② 経営基盤強化と安全操業

- エンジニアリング部門設置で工場診断とトラブル防止、技術伝承を強化。安全・安定操業体制の整備が急務
- 営業・製造・管理全方位でのDX推進。データドリブン経営へのシステム化が重要課題

③ 株主価値向上・PBR改善

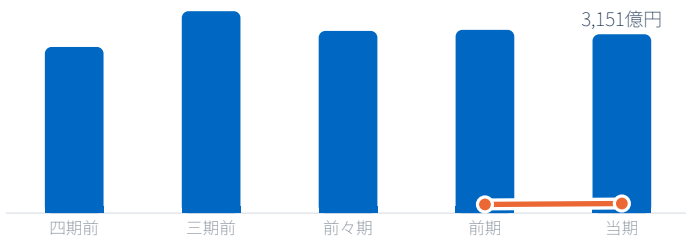
- 2025年3月期ROEが5.4%で、目標8.0%に未達。株主資本コスト7%も下回る低評価状態の解消が課題
- 配当性向を25~30%から30~35%に引き上げ、株主還元強化。

面接で使えるポイント

- 資源循環型社会実現に向け、35年以上培った廃棄物処理と鉄鋼製品製造を一体化する「エシカルスチール」ブランド戦略に注力
- 2026年度に連結売上高3,800億円、ROE8.0%以上を目指す中期計画「NeXuS II 2026」の3つのつなぐ力（グ…
- 北米に約600億円投資、2030年度にCO₂排出量50%削減（2013年度対比）。

証券コード 5440

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
3,151億円営業利益率
5.4%財務健康度
42点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 59.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
743万円

鉄鋼内 18位/38社

平均年齢
41.3歳

鉄鋼内 22位/38社

平均勤続
16.9年

鉄鋼内 25位/38社

女性管理職
3.7%

鉄鋼内 13位/32社

男性育休
29.6%

鉄鋼内 29位/32社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

